



今月のイチオシ化石紹介

Scalarites sp.

Scalarites 属はディプロモセラス科 (Diplomoceratidae) の異常巻きアンモナイト類で、Turonian～Coniacian まで化石記録がある (Wright et. al., 1996)。Wright et. al. (1996) によれば、浅く開いた渦巻き状の殻が同一平面上に緩く巻く。殻の断面はほぼ円形、肋は単純な環状をしており、まばらに裾広がり乃至狭窄部が存在する。日本以外ではフランスやデンマーク領グリーンホルム島から産出が報告されている。Toshimitsu and Hirano (2000) によれば、日本からは *Scalarites* 属は少なくとも 8 種が報告されている。写真の標本は部分しか残っていないが、渦巻き状の殻が同一平面上を緩く巻いているのが分かる。

1月13日(月・成人の日)に今年度5回目の親子自然探訪教室が開催された。今回は「冬の野鳥を見にいこう!」というテーマで、日本野鳥の会いわき支部の方々の案内の下、夏井川サイクリング公園及び平沼ノ内の漁港に於いて野鳥観察を行った。暖冬で田圃が凍らないためハクチョウは田圃での採餌に散らばってしまっていて、例年とは異なり夏井川河畔でのハクチョウ観察は出来なかったが、シベリアやカムチャツカから渡ってきたカモの仲間や、沼ノ内の断崖で営巣しているハヤブサを観察することが出来た。



写真 2. 鳥の渡りについての説明



写真 3. 夏井川のカモを観察する様子

2月の行事予定

- ・体験発掘 (毎週土曜・日曜及び2月24日の10時～11時30分及び13時30分～15時、但し雨天中止)
- ・大人の体験発掘 (2月11日、既に参加申込は締め切っています)
午前の部 10:00～11:30 午後の部 13:30～15:00

アンモナイトセンター七不思議

アンモナイトセンターは平成4年秋に開館し爾来多くの方々に利用されているが、そこには数々の謎が潜んでいる。本企画では、うっかりすると見落としてしまうアンモナイトセンターに潜む謎について紹介していく(予定である)。

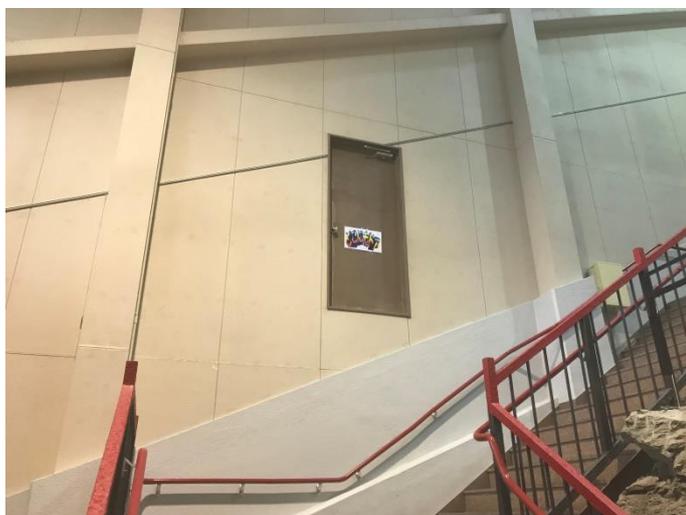


図 1. 壁についたドア

まずは、図1をご覧ください。ドアである。しかし、ただのドアではない。拡大した写真(図2)をみるとそれが良く分かる。



図2. ドア部分の拡大

ドア枠は足元から遥かに高く設置されており、とても人間が使うとは想定できない仕様になっている。外から見ても同様に、ドア枠は足元から離れて設置されている(図3)。



図3. センター外壁

使おうと思っても使えない、「どこにもいけないドア」である。

ボランティア募集

アンモナイトセンターでは、センターの活動を支援して下さるボランティアの方を募集しています。詳しくは、お電話・E-Mail、または職員にお声がけください。



いわき市アンモナイトセンター

〒979-0338 福島県いわき市大久町大久字鶴房 147-2

TEL : 0246-82-4561 FAX : 0246-82-4468

URL : <http://www.ammonite-center.jp>

E-mail : info@ammonite-center.jp